ひゅうが 市議会だより

編集発行：日向市議会 / 2013 年 7 月 28 日発行（平成 25 年） No. 132

九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会 総会・決起大会（延岡市）

市長から提案された議案と審議結果・・・2
委員会審査から・・・4
一般質問・・・6
請願等の審議結果・・・12
議会構成・・・13

▼市長から提案された議案と審議結果　第３回臨時会（５月１３日）

議案番号	議　案　名	審議結果	付託委員会
議案第52号	監査委員の選任について	同意（賛成多数）	付託省略

▼市長から提案された議案と審議結果　第４回定例会（６月７日～６月２８日）

議案番号	議　案　名	審議結果	付託委員会
報告第1号	専決処分の承認について（日向市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認（全員一致）	文教福祉
報告第2号	専決処分の承認について（平成24年度日向市一般会計補正予算（第９号））	承認（全員一致）	※３委員会
報告第3号	専決処分の承認について（平成24年度日向市公営住宅事業特別会計補正予算（第３号））	承認（全員一致）	生活産業建設
報告第4号	専決処分の承認について（平成24年度日向市財光寺南土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）	承認（全員一致）	生活産業建設
報告第5号	専決処分の承認について（平成24年度日向市城山墓園事業特別会計補正予算（第１号））	承認（全員一致）	文教福祉
報告第6号	専決処分の承認について（平成24年度日向市簡易水道事業特別会計補正予算（第２号））	承認（全員一致）	生活産業建設
報告第7号	専決処分の承認について（平成24年度日向市下水道事業特別会計補正予算（第５号））	承認（全員一致）	生活産業建設
報告第8号	専決処分の承認について（平成24年度日向市農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号））	承認（全員一致）	生活産業建設
議案第53号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）	付託省略
議案第54号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）	付託省略
議案第55号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意（全員一致）	付託省略
議案第56号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意（全員一致）	付託省略
議案第57号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意（全員一致）	付託省略
議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意（全員一致）	付託省略
議案第59号	日向市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）	総務企画
議案第60号	日向市子ども・子育て会議条例	可決（全員一致）	文教福祉
議案第61号	日向市工場立地法準則条例	可決（全員一致）	生活産業建設
議案第62号	日向市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）	生活産業建設
議案第63号	日向市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）	生活産業建設
議案第64号	財産の取得について	可決（賛成多数）	文教福祉
議案第65号	工事請負契約の締結について	可決（全員一致）	総務企画
議案第66号	日向入郷地域障害者給付認定審査会共同設置規約の変更について	可決（全員一致）	文教福祉
議案第67号	平成25年度日向市一般会計補正予算（第１号）	可決（全員一致）	※３委員会
議案第68号	平成25年度日向市公営住宅事業特別会計補正予算（第１号）	可決（全員一致）	生活産業建設
議案第69号	平成25年度日向市簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）	可決（全員一致）	生活産業建設
議案第70号	平成25年度日向市下水道事業特別会計補正予算（第１号）	可決（全員一致）	生活産業建設
議案第71号	平成25年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決（全員一致）	文教福祉
議案第72号	日向市職員の給与の臨時特例に関する条例	可決（賛成多数）	特別委員会
議案第73号	平成25年度日向市一般会計補正予算（第２号）	可決（全員一致）	特別委員会

※ ３委員会とは、総務企画、文教福祉、生活産業建設の常任委員会です。

▼表決結果の別れた議案（右記の審議結果で賛成多数の議案です）

議案名＼議員名	海野 誓生	三樹 喜久代	富井 寿一	日髙 和広	黒木 金喜	松葉 通明	柏田 公和	鈴木 富士男	溝口 孝	黒木 末人	木田 吉信	黒木 高広	甲斐 善重郎	日髙 一直	坂口 英治	西村 豪武	黒木 円治	岩切 裕	甲斐 敏彦	荻原 紘一	黒木 万治
議案第 64 号 財産の取得について	○	○	○	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○
議案第 72 号 日向市職員の給与の臨時特例に関する条例	●	○	●	○	○	○	●	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●

○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。議員名は左から議席順。
※ 畝原幸裕議員は議長職のため表決権はありません。

《 討　論 》

討論とは、採決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。

議案第 64 号 財産の取得について

賛 成

現在の学校給食共同調理場は、築後 37 年余り経過。埋立地に建設されており、地盤沈下、駐車場の手狭等、子供の衛生的な食事の提供、健康面からも対策は困難である。早急な建設が望まれる事を願って賛成する。【甲斐　敏彦】

実測調査で面積を出し、これまでの公共工事に則り、地権者立会で仮契約を結んでいる。地権者も不動産鑑定士の地目単価に対して十分納得している。大局的、客観的な立場から捉えてみても、何の問題もない。【日本共産党市議団】

反 対

算定資料が皆無で山林原野単価 400 円／㎡は前より 100 円安、逆に地籍は実測で約 10 倍増の買収は、一貫性を欠き将来に禍根を残す。農地法上の是正も法令遵守と公正公平な対応が必要、現地確認なく承認するのは異常だ。【西村　豪武】

学校給食共同調理場建設用地の購入については、当初から十分な説明、資料等が開示されず、農地法違反の是正処置、購入単価の正当性についても、議会として確認できたとは言いがたい。よって、反対する。【柏田　公和】

議案第 67 号　平成 25 年度 日向市一般会計補正予算（第 1 号）

賛 成

大企業である中国木材株式会社には、その大きな経済力を日向・入郷地区を含めた農林漁業・中小企業・商工業者の経営、働くものの雇用と所得の向上につながるようにする社会的な責任を果たすことを期待して賛成する。【日本共産党市議団】

日向市議会ホームページをご活用下さい。

http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/shigikai/

議員名簿、請願等の様式、会議録などをご覧いただけます。

議案第 72 号　日向市職員の給与の臨時特例に関する条例

反 対

地方交付税を循に地方自治体に給与削減を誘導する政府の手法は、地方公務員給与の決定原則を無視の上、分権・自治の理念に反し、政府の経済政策と矛盾して地域経済や労働者の賃金に多大な影響を与えるため反対する。【海野　誓生】

減災、防災の予算確保のための公務員給与削減策というのは、言わば「井戸端会議」レベルの政策だ。財政不足はまったく別問題。執行当局の立場は理解するが賛成しかねる。【岩切　裕 】

今回の職員給与削減の影響は、職員やその家族の生活にとどまらず、民間労働者の給与やボーナスにも影響を及ぼし、消費を一層冷え込ませ地域経済にも打撃を与えることは明らか。くらしや経済の立て直しが必要である。【日本共産党市議団】

定例会

平成25年度一般会計補正予算　12億5,011万円
補正後総額　282億5,011万円

【主な補正内容】

◆3月専決

☆地域経営型包括支援クラウドモデル構築事業　5,342万円

◆6月補正

☆保育士等処遇改善臨時特例事業　3,768万円

☆森林整備加速化・林業再生事業　12億3,354万円

☆市道施設等整備事業　2,200万円

☆消防無線のデジタル化整備に要する経費　4億7,500万円

☆キャリア教育推進事業　210万円

◆特別会計

☆公営住宅事業特別会計　△400万円

☆簡易水道事業特別会計　△7,060万円

☆下水道事業特別会計　△1億9,496万円

☆国民健康保険事業特別会計　△1億3,063万円

平成24年度
一般会計補正予算（専決分）
5億9,688万円減額
補正後総額
291億2,959万円

6月定例会　委員会審査から

6月定例会初日に上程された市長提出議案27件のうち、初日に議決された人事案件6件を除く21件について、9日間の議案熟読の後、6月21日に本会議で質疑を行い、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。

各委員会における審査の過程で出された意見・要望を紹介します。

総務企画常任委員会

付託を受けた議案は、専決処分の報告1件、市税賦課徴収条例の一部を改正する条例1件、事件決議で工事請負契約の締結1件、補正予算1件の計4件です。これらはいずれも全員一致で可決されました。

平成25年度同報系防災行政無線整備工事の請負契約については、契約管理課に対し「事後審査型で応札業者が2者と少ないが」と質疑があり、「予定価格が1億5千万円以上の工事は事後審査型とするという市の要領に従って行っている。業界紙等にも情報提供し周知を図っている。自治体の入札は、原則は一般競争入札だが、事後審査型の方が応札者も事務軽減を図れる面もあり、どちらがよいか判断は難しい」との答弁がありました。

職員課所管では、退職手当積立金の減額について、基準の16名に対し実際の退職者が18名になり積み立てをしなかったことによるとの説明がありました。

また市民協働課所管では、市民提案事業公募補助金に関し、4団体の見込みに対し実施が1団体に止まったことに対して「補助のハードルが高すぎるのでは」との質疑があり、「団体側のさまざまな理由によるもので、特段ハードルが高いとは思っていない」との答弁がありました。

文教福祉常任委員会

付託された議案は、報告3件、条例1件、事件決議2件、補正予算2件の計8件です。

「財産の取得」については賛成多数で原案のとおり可決され、それ以外の議案については採決の結果、全員一致をもって可決されました。

なお、審査を踏まえ「学校教育課所管の事業」について以下の意見を付記しました。

「子供達が自立した社会人・職業人としてたくましく社会を生き抜くために、社会的・職業的自立の基礎となる能力や態度を育てる」ことを目的として学校と家庭・地域・企業をつなぎ、9ヶ年を見通したキャリア教育を推進するという「キャリア教育推進事業」について、そのあり方や方向性を協議する「日向市キャリア教育推進懇話会」を設置し、日向商工会議所内の事務局に市・企業・学校との連携調整を行うコーディネーターを配置して活動の充実を図るとの説明を受けたが、本市が県内唯一のモデル地区ということであり、懇話会の中で「キャリア教育」がこれからどういう方向で進んでいくかを模索していくことになると思われるが、産学官と連携する本市の取組みが県全体の規範となるよう努める必要があることからも、その方向性について、学校も含め関係者に周知徹底を図り、十分協議してほしい。

現地調査（東郷学園）

生活産業建設常任委員会

本委員会に付託の全議案は、別段異議なく全員一致で可決されました。

なお特筆すべきは、財源は全額県補助金で整備加速化・林業再生事業の、地域材の需要拡大と需要動向に応じた生産体制を構築し、強い林業・木材産業の振興を図ることを目的に、中国木材株式会社に、製材前の皮剥ぎやバークを破砕する機械・設備、集成材の部材や、バイオマス燃料を製造する為の機械・設備等に11億5千7百7万2千円、東九州プレカット事業協同組合に、構造材以外の筋交いや板類などの木材加工施設の作業用建物や製品保管庫の建設、及び加工機械や車両の導入に対し、4千8百7万4千円、宮崎県森林組合連合会に、木材集出荷用の積込み機械と木材の重量を計る機械各2台に2千8百9万4千円の補助金を交付の予定との説明を受けました。

以上を踏まえ委員会として「市民の関心や期待も大きく、各方面に亘る雇用の増加、地域経済全体の発展にも大きく影響することが期待されていることから、市としても同社と連絡を密にし、関係企業とも連携しながら、地域全体の活性化に努められたい」「耳川流域の伐採期の杉材や林地残材処理等の課題払拭の対応を市としても積極的に取り組まれたい」との意見を付記しました。

現地調査（財光寺汚泥処理場）

人事案件

固定資産評価審査委員会委員に

黒木　康夫さん（再任）
本田　洋子さん（再任）
黒木　一　さん（新任）

固定資産評価審査委員会委員のうち、黒木康夫さん（鶴野内）、本田洋子さん（日知屋）、梶田良春さん（曽根町）が本年6月7日をもって任期満了となりますが、引き続き黒木康夫さん、本田洋子さんを、梶田良春さんの後任として黒木一さん（亀崎東）を選任することに同意しました。

人権擁護委員に

塩月智恵子さん（再任）
後藤　大成さん（再任）
佐藤　欣一さん（新任）

人権擁護委員のうち、塩月智恵子さん（平岩）、後藤大成さん（山下町）、三浦正教さん（坪谷）が本年9月30日をもって任期満了となりますが、引き続き塩月智恵子さん、後藤大成さんを、三浦正教さんの後任として佐藤欣一さん（越表）を推薦することに同意しました。

一般質問

市政を問う!!

6月定例会では、6月17日から19日までの3日間、市政に関する一般質問が行われ、11人の議員が登壇しました。これらの中から登壇議員が行った質問と市長等の答弁の要旨を紹介します。　※答弁者は、市長、教育長等です。

木田吉信 議員
（　政真会　）

日向市初期救急診療所について

問 平成21年に開設した診療所は4年が経過した。地域医療を守るため市民に愛される診療所を目指し、更なる充実が必要である。

答 開設の目的は、初期救急診療所の充実、二次救急医療機関の負担軽減であり、市民への安全・安心な医療を提供するものである。各機関と連携・協力体制を密にし、中・長期的な視点に立ち、地域医療を守るための啓発活動も行いながら運営していきたい。

生活保護受給者の就労支援について

問 生活保護受給者は、雇用状況の悪化等で、全国で213万人と過去最高になっている。生活保護費は年々増加し、大きな財政負担となっているが、生活保護は社会保障のセーフティネットである。どのような就労支援を行っているか。

答 就労支援については、就労可能な被保護者に対して、早期自立を目指し、期間を設定して集中的に支援を行っている。就労意欲喚起事業については、「社会的な居場所づくり支援事業」等を推進していく考えである。

生ごみ処理と有料化について

問 ごみの排出量は、発生の抑制・資源化の推進で年々減少しているが、さらに「ごみゼロ化」を目指すには生ごみの資源化と税の公平負担の面からも有料化を早期に実施すべきではないかと考える。

答 これまで「ごみから資源へ」を前提に様々な施策を展開しているが、実績を検証し循環型の社会を目指す。また、財政負担の軽減からも排出量に応じた負担の公平化や更なる減量化が期待できる有料化の導入について検討する。

荻原紘一 議員
（日本共産党市議団）

国の悪政・暴走を許さず 市民生活の安定を

問 安倍政権は財界の要請にこたえた「解雇自由化」「サービス残業合理化」を進めている。このような規制緩和をやめ、働く人の所得を増やし、人間らしく働ける条件・ルールを改善・充実すること、また雇用の大多数を支える中小企業を地域経済の根幹と位置づけた大規模な振興策をとることが求められている。

答 労働・雇用制度の見直しは、国民生活に直接影響する重要な問題だ。市内事業所約2千社にアンケート調査を実施し、振興計画を策定する。

地方自治をゆるがす道州制に反対を

問 自民・公明両党が「道州制推進基本法案」の国会提出を進めている中、九州地区町村会長会は、道州制反対の決議を採択した。これは、「地域の実態や住民の意向を顧みることなく市町村の再編を強いることになれば我が国にとって重要な役割を果たしてきた多くの市町村・農村漁村の自治は衰退の一途をたどる」としているがどうか。

答 道州制については、地方分権の本旨である基礎自治体優先の原則が最重要視されるべきである。

市民の命と安全を守る救急対策を

問 消防年報によると平成24年中の管内の救急業務の実施状況は、救急出場件数2862件、搬送人員2621名となっている。これが市民のかけがえのない生命が守られている貴重な取組みであることは言うまでもない。この立場から救急車の配置改善を図る明確な計画方針を示してほしい。

答 充実には組織体制の見直しや人員増員等も関係するので、今後、救急需要の推移等を検証し、市全体の各種計画との調整を図り検討していく。

岩切　裕 議員

分権改革をどう評価し、また課題は何か

問 1993（平成5）年6月3、4日の衆参両院における「地方分権の推進に関する決議」からちょうど20年。分権は20歳を迎える。これまでの分権改革をどう評価し、また課題、自治体に求められる姿勢は何か。

答 「義務付け・枠付けの見直し」、「基礎自治体への権限移譲」で国と地方の関係は大きく変化してきた。ただ、税財源の移譲、財政面の改革は不十分。魅力ある地域づくりに向けた政策立案、実行能力が重要だ。

新市庁舎は市内分散配置を

問 超高齢化、人口減少、財政難等の現状、また自治体内分権を踏まえれば、新庁舎は市内の既存建物等を利用して分散配置する方が、PFI等の導入、地元杉材の利用も可能で、地域産業の基盤構築にも資するのではないか。

答 厳しい財政状況の中、既存施設の補修等公共施設の維持管理に係る経費の増大が大きな問題。現況では、公共施設の集約化、効率化を図らざるを得ず、複数の施設が庁舎機能を担うことは効率性等の面から課題がある。

現状からの政策立案、推進を

問 福祉に限らず、現状の十分な把握から必要な対策は出てくる。政策立案過程に、現状把握の仕組み作りが必要だと思うが如何。また近い将来10人に1人が認知症という時代を迎える。その総合的な予防策を問う。

答 昨年策定の「第2次日向市地域福祉計画」でも、福祉団体等と意見交換を行い、またアンケートを実施し現状と課題を把握している。認知症予防策として、「（仮称）日向市認知症施策推進5ヶ年計画」を策定する。

三樹喜久代 議員
（公明党市議団）

障がい者・高齢者の人権擁護について

問 成年被後見人の選挙権が回復したが、本市の対象者数と不正投票を防止する取組みを伺う。

答 対象者は66名。代理投票における補助者は投票事務従事者に限定、不在者投票をされることも多いため、不在者投票管理者に対し、外部立会人を立ち会わせる。

問 成年後見制度は認識不足や手続きの煩雑さなどもあり、需要が高いにも関わらず利用件数が少ないが、市民への周知はどうか。

答 パンフレットを作成し、地域包括支援センター等と緊密に連携して対応している。

問 専門研修を企画し、市民後見人の人材バンクを立ち上げるべきだと思うが如何か。

答 今年度は介護や医療の専門職員等の研修を予定。市民後見人の育成および活用の体制づくりを課題として受けとめている。

文化センターの利活用について

問 平成24年度の文化交流センターの大ホールと東郷地区文化センターの利用率（利用可能日数に対する稼働日数）を伺う。

答 大ホールが39％、東郷地区文化センターは25％である。

問 本市では千人を超す集会場がほとんどなく、不自由を感じる場面があるが、文化センターの施設提供についての考えを伺う。また、利用しやすいよう、使用料の見直しができないか。

答 市内外の企業の要望に応えるため展示場等としての利用にも配慮している。使用料の改定については、他市の状況を参考にしながら、慎重に対応したい。

問 東郷地区文化センターの利用率が年々低下しているが、別の活用法の検討等はしていないのか伺う。

答 文化センターにとらわれない、別の活用法を検討したい。

文化交流センター

溝口孝 議員
（ 政真会 ）

本市の農業振興と戦略は

問 本市の農業生産額は118億、その中でも畜産は83％の約98億、甲種農業（米や野菜等）に至っては17％の約20億と厳しい状況にある。高齢化や後継者不足、遊休農地が増える中、本市の農業振興策・戦略について伺う。

答 日向の農業については厳しいと思っているが、農業は未来の成長産業と思っているので、地域の特性を生かし、基盤整備や農事法人を作ってブランド化を図り、所得の向上を目指すバランスのとれた計画を示したい。

オリーブ栽培で遊休農地・耕作放棄地の再活用を

問 遊休農地や耕作放棄地の再活用、また、中山間地域の活性化策として、オリーブ栽培を取り入れてはどうか。理由として比較的軽労働であり高齢者でも従事でき、樹木の寿命が長く数千年収穫できる。また、オリーブ油に加工すれば地域ブランドとして6次産業化に繋がる。地域全体で取り組めば約200億円の経済効果ができると試算されている。

答 オリーブは新たな目玉として期待している。調査・研究し新たなブランドとして可能性を見極めたい。

風疹ワクチン助成を早急に実施

問 20代から40代の成人男女の風疹感染が急増している。抗体を持たない、また低い抗体価の妊娠中の女性が風疹にかかると、赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害（先天性風疹症候群）が起こる可能性が高いといわれている。若いお母さん達が安心して子供を産み育てる環境を作ることが我々の責務である。早急に風疹ワクチン助成制度を創設し、未然に発生を予防すべきと思うがどうか。

答 早急に実施に向け取り組んでいきたい。

西村豪武 議員
（改革クラブ結い）

南部振興の喫緊の課題と対応策は如何に

問 美々津支所機能の整備と救急体制の充実の取組みを伺う。

答 支所は築40年経過で老朽化あるも支障なきように補修で対応し、建替等は平成26年度に市内各施設の管理方針や「公共施設再配置計画」策定の中で総合的に検討する。南分遣署の救急車配備は、狭隘な敷地の為、地域防災計画見直しの中で移転や組織体制、人員等の見直しが必要で、市全体の計画等との調整で検討する。

南海トラフ巨大地震防災対策等の取組み

問 美々津中学校や周辺企業に対する減災対策、防災面に配意した「一体型小中一貫教育校」の整備の対応策を伺う。

答 地域の防災士の助言を受けながら地震・津波を想定した避難訓練を実施中。児童生徒にその場に応じた対応が出来るような「自己管理」能力の育成を図りたい。一貫教育は地域の実態、児童生徒数の推移を考慮し、各校区に即した整備に取り組む。企業等には地域で連携した避難訓練等の積極的な実施と災害に強い地域づくりを願う。

市街化調整区域の見直しをすべきでは

問 南海トラフ地震災害に備え3・11津波災害の教訓を活かし、市庁舎建設場所や都会からの移住者受け入等先々を見通して集落地区計画の策定により、富高塩見地区の線引きを見直すべきではないか。

答 都市計画で市街化を抑制する区域の位置づけの為、見直しは考えていない。都市計画区域内の市街化区域を除いた区域で農業振興区域内が前提であり、地域の特性や農地の転用状況、公共施設の整備状況を勘案して各種計画が講じられることが適当と認められる地域が対象のため、現在のところ塩見地区を集落地区計画区域として位置づけることは厳しい。

黒木万治 議員
（日本共産党市議団）

「アベノミクス」の問題点について

問 今求められているのは、「大企業の内部留保の一部を使って働くものの賃上げや、消費税増税中止」「現役世代も高齢者も安心できる社会保障」「中小企業振興など、内需主導の健全な成長をもたらす政策、国民所得を増やし、消費を活発にし、内需を増やす景気回復」ではないか。

答 一時的な経済対策ではなく、国民生活や内需拡大等に視点を置いた中長期的な政策の展開が望まれる。消費税の増税についても景気条項の運用を含め慎重な対応を図ってもらいたい。

憲法96条改定の動きについて

問 改憲の発議要件を衆参両院の3分の2以上の賛成から、過半数に緩和すべきとの政府の声に対して、各界から反対の声も強まっているが、どう認識しているか。

答 現在の憲法は、占領下における米軍主導で策定されたものであり、発議するについても高いハードルが設けられている。発議することには、柔軟性があっても良いと考えている。ただし、憲法改正の中身の可否の件については、国民主権に則って厳しく律すべきである。

商店リニューアル助成事業について提案

問 中小業者の小売、宿泊、飲食業、生活関連等などの「店舗改装」「店舗で使用する備品購入」に対して、限度額は100万円、市内の施工業者に限るという条件付きで、対象事業費の2分の1を補助する制度を導入して、活性化を図っている自治体もある。検討すべきではないか。

答 商店の改装等の支援としては、「日向市中小企業特別融資制度」や県の「魅力的な商店・商店街支援貸付制度」等の低利の融資制度の利用促進をはじめ、市の融資制度利用の際の保証料の全額補助等を行っている。

甲斐善重郎 議員
（ 市政会 ）

小規模林家の育成と安定経営は

問 過疎地の小規模林家の育成と安定経営は検討しているか。

答 山林所得の確保はもちろん、特用林産物や農業収入を加えることにより、安定的な所得の確保を図る必要がある。そのため、林道、作業道の路網の整備を図り、木材搬出コストを削減するとともに椎茸の種駒購入費補助等、林家所得向上に取り組んでいる。また、中国木材株式会社が、製材工場や木質バイオマス発電所を稼働させるため原木や林地残材などバイオマス燃料の安定供給体制を構築し、林家への所得還元に努め、地域の後継者育成や定住促進につなげていきたい。

木材加工セリ市

過疎対策 集落営農支援員の調査結果と今後の取組み

問 集落に住む人達が自分の土地に誇りを持ち、土地の未来に夢を描ける環境づくりは。

答 昨年11月より、集落支援員を東郷地域に配置し、東郷町仲深地区を対象に集落点検を実施した結果、「今後もこの地区に住み続ける」と回答した方が7割を超え、「住み続けるために必要だと思うこと」には、子や孫などが「老後や日常の支援をしてくれる」「自宅から学校へ通学できる」が約20％であった。家族や知人に囲まれながら、自分の住んでいる地域に住み続けることに「幸せ」を感じ、先祖から受け継いできた田畑や山林など恵まれた自然環境や、そこに住む住民同志の絆の深さが、過疎地域に住む方々の豊かさになっている。調査結果から、住民が安心して住み続けるための医療機関や福祉施設の充実、交通機関の整備など地域環境の形成が望まれていると考えている。仲深地区は高齢者の割合が60％、高齢者のみの世帯が55％と高く、高齢化率が増加傾向となることが予測される。

柏田公和 議員
（改革クラブ結い）

第3日曜日「家庭の日」の認識は

問 宮崎県が提唱している、第3日曜日「家庭の日」を教育委員会としてどのように認識しているのか。

答 教育委員会定例会で、今まで「家庭の日」について議論したことはない。「家庭の日」は、親が子どもと接する時間を作る契機として提唱されているので、今回の提起をひとつの起爆材として、親と子の関係を深める施策等を考えていきたい。

「Q－U」検査について

問 本年度より、市内の全小学校4年生と、中学校1年生を対象に、子どもの悩みや困り感を早期発見し、子どもの内面から解決を図ることをねらった「Q－U」検査を導入するとのことであるが、保護者の理解は必要ないのか。

答 学校の中の人間関係や、クラスの中の人間関係を調べるもので、保護者の了解を得ることは考えていない。ただ、検査結果で問題があれば、保護者に知らせて解決を図る必要があると考えている。

「シェイクアウト」の実施について

問 簡単な行動で防災意識の向上を図ることができる「シェイクアウト」を実践すべきと思うが、他自治体で「シェイクアウト」実施時の課題が見受けられるとある。どのようなものがあるのか。

答 「シェイクアウト」訓練を実施した他自治体では、訓練開始時の広報を、同報系防災行政無線や緊急通報メール等を活用して行ったが、通報を忘れていたり、連絡が行き届いておらず、市民の間にパニックが発生した事例が見受けられる。

日髙和広 議員
（　市政会　）

日向市インターチェンジ周辺の交通環境の問題点と変化への対応

問 東九州自動車道の開通予定・小倉ヶ浜有料道路の無料化により県道日知屋財光寺線の交通量が増えているが、市としての現状把握と対応の状況、また今後の取組みについて伺う。

答 本路線の交通安全対策については、道路管理者である県と協議を重ねており、見通し確保のため、歩道や交差点付近の樹木の剪定・一部撤去などが行われる予定である。

小倉ケ浜有料道路無料化式典

日向市の太陽光発電システム設置補助金について

問 昨年実施された太陽光発電システム設置に対する補助金に関し、需要を考えると本年度も補助を増額したうえで、地元業者を優先に考えて実施すべきではないか。

答 国・県に同様の補助制度が充実してきており、再生可能エネルギーの固定価格買取り制度が開始され販売価格も下がったため、計画通り24年度で終了したところである。

庁内のワンストップサービスについて

問 市民の方々が手続き・相談で市役所を訪れた時、1回の来庁で用事を済ませられるのがワンストップサービスと考えるが、市の取組みに対し、市民目線からの捉え方との違いがあるのではないか。

答 職員が部署を横断的に移動するなど連携を強化している。今後も新庁舎の建設に合わせて他市の先進事例などを研究しながら、本市の実情にあった窓口機能の在り方を検討していく。

海野誓生 議員
（社民・民主の会）

伝統工芸品の保存・育成について

問 本市における県の伝統工芸品は、はまぐり碁石、榧（かや）碁盤、手漉（す）き和紙が指定されている。しかし、高齢化と後継者・継承者等の課題があるが、市としての保存・育成の方策は考えているのか。

答 原料のはまぐりの確保や、手摺（ず）りの技術など無形文化財の指定に向けての取組み等、保存と育成に向けて努力したい。また、美々津手漉（す）き和紙については、今後とも伝統工芸品の良さを広く理解してもらうため、市内外に向けてのPR等に努めていきたい。

囲碁文化の振興について

問 本市は、世界唯一のはまぐり碁石の産地であり、囲碁を文化振興とし取り組むべきではないか。

答 はまぐり碁石の産地であり、囲碁の普及は大きな課題である。現在、放課後子ども教室や公民館主催の子供土曜教室で囲碁を取り入れている。また、小学校の休み時間等を利用して囲碁の楽しさを紹介した取組みにも多くの参加を得ている。今後は、囲碁教室等を開講する計画である。今後とも、囲碁への理解や普及に努めたい。

南海トラフ巨大地震について

問 南海トラフ巨大地震は、予知困難であり、何時（いつ）起きてもおかしくないと言われている。保育所等の福祉施設を高台へ移転させるべきではないか。

答 本市の想定浸水域21・3㎢の中に、保育所17園、幼稚園6園、高齢者施設26施設、障がい者施設23施設があり、約3千5百人が入所、通所している。本市は、「逃げる」ことを基本に多重防御を推進しており、施設等の高台移転は考えていない。ただ、国の改正法の成立を待ち、慎重に判断したい。

▼請願・陳情と審議結果（新規）

請願・陳情件名	請願・陳情者	審議結果	付託委員会
請願第７号 日向市役所庁舎建替え基本・実施設計業務委託に関する請願書	日向市大字日知屋古田町９番地 ㈳宮崎県建築士事務所協会 副会長 近藤正美さん ㈳宮崎県建築士会日向支部 支部長 安藤栄治さん 日向建築設計事務所会 代表理事　佐藤友治さん	採　　択 （全員一致）	総務企画
請願第８号 防災対策として石櫃山避難道の再整備に関する請願書	日向市大字塩見９７５－３ 石櫃山公園化促進協議会　会長　山本栄さん 日向市大字富高１９番地 中原区長　日高信輔さん 日向市大字富高２７４番地 高見橋通り区長　橋口雅行さん 日向市大字塩見１８５１－３ 新財市区長　松本和育さん	趣旨採択 （全員一致）	総務企画
請願第９号 国土調査の錯誤修正と市担当部課間の見解の相違による矛盾の解消等を求める請願書	日向市大字塩見 4660 番地１ 平山直雄さん	継続審議 （全員一致）	生活産業建設
陳情第 19 号 学校給食共同調理場建替計画に関連する陳情に対し、当局が親切かつ丁寧に対応する事を求める陳情書	日向市大字塩見４５４３番地 地区代表　細川公寛さん 外「共同調理場の場所選定を考える塩見地区住民の会」会員一同の皆さん	不 採 択 （賛成少数）	文教福祉

※ 請願・陳情の委員長報告について知りたい方は、議会事務局までお問い合わせください。

▼委員会が提案した議案と審議結果（５月臨時会）

議案名	審議結果
議案第５号　日向市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決（全員一致）

市議会を傍聴してみませんか!!

市議会を傍聴することは、市政の動きや課題を理解し、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを知る一つの方法です。

市議会は、毎年４回の定例会（通常３月、６月、９月、１２月）が開かれ、この時には市政全般についての一般質問も行われます。また、必要に応じて開かれる臨時会があります。

会議の日程や傍聴について詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。なお、６月議会の傍聴者は、述べ２６名でした。

議場及び傍聴席は、市役所２階にあります。案内を表示していますが、分からない時は職員にお尋ねください。

※議会傍聴時の注意点

○携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。

○録音・写真撮影をされる場合は、議会事務局に申し出てください。

○入口の傍聴者受付票に住所とお名前を記入してください。

５月臨時会
（平成25年第３回臨時会）

◇会期
５月13日（１日）

◇市長提出議案
人事案件・・・１件

◇委員会提出議案
条例・・・・・１件

６月定例会
（平成25年第４回定例会）

◇会期
６月７日～６月28日
（22日間）

◇市長提出議案
報告・・・・・８件
人事案件・・・・６件
条例・・・・・６件
事件決議・・・・３件
補正予算・・・・６件

◇請願等
請願・・・・・３件
陳情・・・・・１件

新しい議会構成が決まりました

5月13日に開かれた第3回臨時会において、黒木円治議長及び坂口英治副議長から辞職届が提出されましたので、投票により正副議長の選挙を行いました。この結果、第33代議長に畝原幸裕議員、第32代副議長に黒木万治議員がそれぞれ選出されました。

その後、市長から提案された「監査委員の選任について」を審議の結果、甲斐敏彦議員を監査委員として選出することに同意しました。

その後、各委員会の委員を選任し、互選により正副委員長を選任しました。新しい議会構成は次のとおりです。

畝原幸裕議長

黒木万治副議長

甲斐敏彦監査委員

▼委員会等構成

◎は委員長　○は副委員長

	委員会名	委員氏名
常任委員会	総務企画常任委員会	◎岩切　裕　○黒木　高広　海野　誓生　溝口　孝　黒木　末人　木田　吉信　坂口　英治
	文教福祉常任委員会	◎日髙　和広　○富井　寿一　柏田　公和　鈴木　富士男　日髙　一直　甲斐　敏彦　黒木　万治
	生活産業建設常任委員会	◎西村　豪武　○三樹　喜久代　黒木　金喜　松葉　通明　甲斐　善重郎　黒木　円治　荻原　紘一
特別委員会	総合防災対策特別委員会	◎柏田　公和　○富井　寿一　三樹　喜久代　日髙　和広　松葉　通明　鈴木　富士男　木田　吉信　黒木　高広　甲斐　敏彦　荻原　紘一
	議会改革特別委員会	◎黒木　金喜　○甲斐　善重郎　海野　誓生　溝口　孝　黒木　末人　日髙　一直　坂口　英治　西村　豪武　黒木　円治　岩切　裕
	議会広報特別委員会	◎黒木　万治　○日髙　和広　三樹　喜久代　富井　寿一　松葉　通明　柏田　公和　木田　吉信　岩切　裕
議会運営委員会		◎黒木　高広　○黒木　金喜　海野　誓生　三樹　喜久代　黒木　末人　木田　吉信　日髙　一直　西村　豪武　荻原　紘一
各種委員	民生委員推薦会委員	日髙　和広　富井　寿一
	都市計画審議会委員	黒木　末人　柏田　公和
	国民健康保険運営協議会委員	日髙　和広　富井　寿一
宮崎県北部広域行政事務組合議会議員		三樹　喜久代　富井　寿一　西村　豪武
日向・東臼杵南部広域連合議会議員		海野　誓生　黒木　金喜　松葉　通明　鈴木　富士男　黒木　末人　坂口　英治　荻原　紘一　畝原　幸裕

▼会派構成

会派所属議員の変更がありました。7月1日現在での会派構成は次の通りです。(○印は代表者)

市政会 ○黒木　高広　畝原　幸裕　甲斐　敏彦 黒木　金喜　日髙　和広　甲斐　善重郎	**政真会** ○木田　吉信　溝口　孝　鈴木　富士男 黒木　円治　黒木　末人
豊政会 ○日髙　一直　松葉　通明	**日本共産党市議団** ○黒木　万治　荻原　紘一
公明党市議団 ○三樹　喜久代　坂口　英治	**社民・民主の会** ○海野　誓生　富井　寿一
改革クラブ結い ○西村　豪武　柏田　公和	**会派名なし** ○岩切　裕

次回の議会日程
（9月定例会予定）

8月30日（金）本会議（開会）
9月　9日（月）本会議（一般質問）
　　10日（火）本会議（一般質問）
　　11日（水）本会議（一般質問）
　　12日（木）本会議（一般質問）
　　13日（金）本会議（議案質疑）
　　17日（火）常任委員会
　　18日（水）常任委員会
　　19日（木）常任委員会
　　20日（金）本会議（採決）
◇ 決算審査
　9月30日（月）本会議（議案質疑）
10月　2日（水）常任委員会
　　3日（木）常任委員会
　　4日（金）常任委員会
10月　8日（火）本会議（閉会）

全員協議会

日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会

5月20日に行われた同連絡会では、今後の活動・県及び国への要望事項について協議しました。

この決定を受け、6月21日、全員協議会で日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会の県及び国への要望事項を全員一致で可決しました。要望事項は9件で、8月1日、6日に知事等に要望する予定です。

日向市森林・林業・林産業活性化議員連盟総会

6月21日本会議終了後、平成24年度の総会を開催しました。総会では、平成24年度の活動報告、決算が承認された後、平成25年度の活動計画、予算が可決されました。

日向市新庁舎建設に関する基本構想（案）の説明会

6月28日本会議終了後、市民説明会に先立ち、日向市新庁舎建設に関するこれまでの経緯と具体的な基本構想（案）について、市当局から説明を受けました。

◇◆ 編集後記 ◆◇

ひまわりが日増しに背を伸ばし、本格的な夏がやってきました。

今回、新しい議会構成になり初めての定例会を開催しました。会期中、議会への日向市新庁舎建設構想の説明が7月に市内各地で行われる「市民説明会」に先立ち行われました。この新庁舎建設については、今後、市議会においても十分議論していくことになると思います。

議会広報特別委員会
委員長：黒木万治　副委員長：日髙和広
委　員：木田吉信、松葉通明、柏田公和
　　岩切　裕、富井寿一、三樹喜久代

永年勤続表彰伝達式

5月22日、第89回全国市議会議長会定期総会において、本市議会から4名の方が永年勤続表彰を受け、その表彰状の伝達式がありました。

黒木円治議員が正副議長4年以上在職、松葉通明議員、溝口孝議員、黒木末人議員は議員10年以上在職によるものです。

本誌に掲載された質問や答弁など、詳しい内容をお知りになりたい方は、会議録（8月末発行予定）をご覧ください。会議録は議会事務局、市立図書館に備えています。また、市議会のホームページでも、会議録の検索と閲覧ができます。

平成24年度日向市議会情報公開制度の運用状況

①情報開示請求受理件数　10件
　開示承諾件数　10件
②開示請求等の対象文書の内容
・平成23年度分政務調査費収支報告書・領収書
・平成24年度定例会本会議会議録
・平成24年度委員会会議録、委員会審査資料

◆ お問い合わせは日向市議会事務局まで ◆
〒883-8555　日向市本町10番5号
TEL：（52）8348
FAX：（52）8148
E-mail:gikai@hyugacity.jp